



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,004	2.7	1,641	21.5	1,683	24.4	1,568	148.0
24年3月期第1四半期	17,531	4.6	1,350	12.7	1,352	16.5	632	△20.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,454百万円 (122.3%) 24年3月期第1四半期 654百万円 (△1.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	21.88	—
24年3月期第1四半期	8.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	77,166	42,888	54.7	589.14
24年3月期	78,610	41,725	52.2	572.82

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 42,227百万円 24年3月期 41,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	34,000	1.2	2,100	3.9	2,000	△2.9	1,600	62.8	22.32
通期	70,000	2.7	4,400	3.9	4,200	△3.3	2,700	38.4	37.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	78,698,816 株	24年3月期	78,698,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	7,021,326 株	24年3月期	7,021,026 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	71,677,665 株	24年3月期1Q	72,584,972 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大震災からの復興需要等を背景として、企業の生産活動や設備投資は緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、電力供給に対する懸念や欧州の債務問題等を背景とした円高・株安等の継続など先行きについては不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高180億4百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益16億4千1百万円（前年同四半期比21.5%増）、経常利益16億8千3百万円（前年同四半期比24.4%増）となりました。また、四半期純利益は、退職給付制度改定益(特別利益)を9億2千7百万円計上した結果、15億6千8百万円（前年同四半期比148.0%増）となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住設資材部門は、雨どいシステムのジェットラインが、前期に引き続きハウスメーカー、ビルダーでの採用の増加により順調に推移しました。しかし、戸建住宅の新設住宅着工戸数が前年比横ばい傾向にあったことから、小口径マスのパイプインバート等の管工機材や内装材等の住宅資材の需要が伸び悩み、売上は前年同四半期並みとなりました。

採光建材部門は、各種建造物への自然採光による省エネ用途向けおよび4月に発生した突風被害によりポリカーボネート製波板、平板、加工品の需要が増え、売上は前年同四半期を上回りました。

環境・土木部門は、農地整備における補助金事業の特需等により、売上は前年同四半期を上回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル資材）が、前年度からの繰越し物件受注で増加したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、住環境事業の売上高は、98億1千1百万円（前年同四半期比11.7%増）、営業利益は、10億2千万円（前年同四半期比95.3%増）となりました。

床事業

床事業は、マンション大規模改修市場が順調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。その結果、床事業の売上高は、29億5千2百万円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益は、8億9千2百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、世界的な半導体・液晶装置の市場の低迷や円高の影響により、FMプレート（難燃材料）や制電プレートなど工業用プレートの需要が低迷し、売上は前年同四半期を下回りました。

ポリカプレート部門は、一般産業機械カバー用途を中心に汎用品は堅調に推移しましたが、半導体関連用途の高機能品および携帯関連用途の光学品が伸び悩み、売上は前年同四半期を下回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は、48億2千6百万円（前年同四半期比16.1%減）、営業損失は、1億5千7百万円（前年同四半期は1億9千8百万円の営業利益）となりました。

メディカル事業

骨接合材料部門は、頭蓋顎顔面外科分野のスーパーフィクソープMXの販売は、ほぼ前年並みの水準で推移しましたが、整形外科分野を中心とするスーパーフィクソープの販売が低迷したことにより、売上は前年同四半期を下回りました。

その結果、メディカル事業の売上高は、4億1千4百万円（前年同四半期比11.6%減）、営業損失は、1億1千4百万円（前年同四半期は2千2百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より14億4千4百万円減少し、771億6千6百万円となりました。これは、主に法人税等及び配当金の支払により現金及び預金が13億1千万円減少したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より26億7百万円減少し、342億7千8百万円となりました。これは主に企業年金制度改訂により退職給付引当金が10億5千2百万円、短期借入金金が5億8千8百万円減少したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より11億6千3百万円増加し、428億8千8百万円となりました。以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して2.5ポイント増加し、54.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、世界的な半導体・液晶装置市場の低迷が継続しているものの、当第1四半期連結累計期間において、住環境事業及び床事業が特需要因もあり、順調に推移したため下記のとおり変更しております。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今後の景気の動向によって、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	34,000	1,700	1,600	1,300	18円14銭
今回修正予想(B)	34,000	2,100	2,000	1,600	22円32銭
増減額(B-A)	△ -	400	400	300	
増減率(%)	△ -	△ 23.5	△ 25.0	△ 23.1	△
(ご参考)前年同期実績 (平成24年3月期第2四半期連結累計期間)	33,598	2,021	2,060	983	13円58銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しております。

(4) 追加情報

(退職給付引当金)

当社は、平成24年4月1日付で、企業年金制度の改訂を行いました。

この改訂により、退職給付債務が1,233百万円減少し、これにより生じた過去勤務債務(1,233百万円)と未認識数理計算上の差異の未処理額(306百万円)の純額を一括で退職給付制度改訂益(特別利益)として処理しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,209	5,899
受取手形及び売掛金	25,917	26,124
有価証券	20	20
商品及び製品	7,038	7,011
仕掛品	2,636	2,679
原材料及び貯蔵品	1,639	1,809
繰延税金資産	812	778
その他	1,007	935
貸倒引当金	△160	△160
流動資産合計	46,120	45,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,180	8,127
機械装置及び運搬具(純額)	4,602	4,452
土地	10,073	10,073
建設仮勘定	152	148
その他(純額)	1,048	1,014
有形固定資産合計	24,057	23,817
無形固定資産		
のれん	291	261
その他	470	446
無形固定資産合計	762	708
投資その他の資産		
投資有価証券	3,188	3,047
繰延税金資産	3,287	3,323
その他	1,329	1,306
貸倒引当金	△134	△132
投資その他の資産合計	7,670	7,543
固定資産合計	32,490	32,069
資産合計	78,610	77,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,061	14,093
短期借入金	3,544	2,956
未払法人税等	1,348	1,019
賞与引当金	960	588
その他	3,426	3,178
流動負債合計	23,341	21,836
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	829	826
退職給付引当金	9,941	8,889
役員退職慰労引当金	191	162
資産除去債務	202	202
その他	879	859
固定負債合計	13,544	12,441
負債合計	36,885	34,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	13,007	14,288
自己株式	△2,011	△2,012
株主資本合計	40,851	42,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	166
為替換算調整勘定	△81	△71
その他の包括利益累計額合計	207	94
少数株主持分	666	660
純資産合計	41,725	42,888
負債純資産合計	78,610	77,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	17,531	18,004
売上原価	11,497	11,766
売上総利益	6,033	6,237
販売費及び一般管理費	4,683	4,596
営業利益	1,350	1,641
営業外収益		
受取配当金	36	39
その他	71	54
営業外収益合計	108	94
営業外費用		
支払利息	30	22
たな卸資産処分損	31	—
その他	44	29
営業外費用合計	106	52
経常利益	1,352	1,683
特別利益		
退職給付制度改定益	—	927
特別利益合計	—	927
特別損失		
固定資産処分損	7	8
災害による損失	10	—
特別損失合計	17	8
税金等調整前四半期純利益	1,334	2,602
法人税等	658	1,037
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,565
少数株主利益	44	△2
四半期純利益	632	1,568

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△122
為替換算調整勘定	2	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△21	△110
四半期包括利益	654	1,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	610	1,455
少数株主に係る四半期包括利益	43	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,783	2,524	5,754	468	17,531	—	17,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	3	10	—	23	(23)	—
計	8,793	2,527	5,765	468	17,554	(23)	17,531
セグメント利益 又は損失(△)	522	652	198	△22	1,350	—	1,350

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,811	2,952	4,826	414	18,004	—	18,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	2	5	—	16	(16)	—
計	9,819	2,955	4,831	414	18,020	(16)	18,004
セグメント利益 又は損失(△)	1,020	892	△157	△114	1,641	—	1,641

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。